

ラベプラゾール錠 20mg 長期の処方について ～用法用量の改訂あり 減量や他剤へ変更可能か評価を～

最近、ラベプラゾール錠が1日20mgで長期処方となっている症例に対して、病院には『返戻・減点』、近隣の薬局には『自主返戻と疑義照会を徹底するよう指導』が入り、適正な処方と病状評価がされているか審査が厳しくなっています。

「用法用量」「減量や他剤への変更」についてご覧いただき参考にしてください。

**★維持療法としてラベプラゾール錠を1日20mg継続処方する場合は、
『1回10mg 1日2回』となります (2017年12月に添付文書改訂)**

主な返戻・減点の内容・・・『1日20mgを1回投与』で長期処方されている

添付文書を要約

＜逆流性食道炎 治療＞

通常、1回10mg（または効果不十分な場合は20mg）を1日1回
最大1回20mg 1日2回(内視鏡検査で重度の粘膜傷害に限る)

＜逆流性食道炎 維持療法＞

再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、通常、成人にはラベプラゾールとして1回10mgを1日1回経口投与する。また、PPIによる治療で効果不十分な逆流性食道炎の維持療法においては、1回10mgを1日2回経口投与することが出来る。

★PPI長期投与中の患者には、自覚症状の確認や定期的な内視鏡検査を行い、減量や他剤へ変更が可能か評価を行ってください。

ラベプラゾール錠を20mgで開始後、自覚症状や治療期間（逆流性食道炎は通常8週間まで。効果不十分ならさらに8週間可能）を確認し、減量や他剤への変更が可能か評価を行ってください。

維持療法として1日20mg長期処方を要する患者には以下のレセプト記載が必要

- ①効果不十分として1日20mg維持療法として必要である旨
- ②当該用法・用量として投与開始した年月日
- ③内視鏡検査を実施した年月日 ※定期的な内視鏡による評価を行ってください

—今月号の目次—

- ①＜今月のトピック1＞ ラベプラゾール錠20mg長期の処方について・・・P1
- ②＜今月のトピック2＞抗インフルエンザ薬使用に関する説明および同意書の変更について・・・P2
- ③＜今月のトピック3＞ゾレドロン酸点滴静注の投与方法の変更について・・・P2
- ④＜DI情報＞副作用報告、プレアボイド情報、採用薬変更のお知らせ・・・P3.4

抗インフルエンザ薬使用に関する説明および同意書の変更について

○タミフルの10歳代使用制限解除について

※厚生労働省の有識者会議は16日、抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」の10代への使用制限を解除する方針を決めた。

薬をのんだ子どもがベランダから転落するなど異常行動が相次ぎ、2007年から10代への使用を原則禁止してきたが、タミフルによって異常行動が起きると結論づけられないと判断した。厚労省は年内にも添付文書の改訂を製薬会社に指示した。

タミフルの処方は、インフルが重症化する危険が高い場合などには認められている。研究班が10代の異常行動を分析すると、09～16年の100万処方当たりの報告数は、タミフルを使った患者は6.5件。別の抗インフルエンザウイルス薬でもリレンザ4.8件、ラピアクタ36.5件、イナビル3.7件。薬を使わない患者でも確認されている。研究班は「薬の服用の有無、種類に関わらず、インフルエンザ罹患（りかん）時には異常行動を起こす可能性がある」とした。

添付文書改訂に伴い、当院の抗インフルエンザ薬処方時の10歳代への同意書を廃止し、説明文書「当院におけるインフルエンザの治療について」をインフルエンザ罹患または疑い患者にお渡しすることになりました。

今までは成人・小児で説明書を分けていましたが、同一の説明書としました。

説明文書の詳細な内容につきましては別紙でご確認ください。

ゾレドロン酸点滴静注の投与方法の変更について

ゾレドロン酸点滴静注は、腎機能低下例にはクレアチニンクリアランスに応じて薬液を一部抜き取り、生理食塩液を添加して投与全量を100mlとすることになっていました（高カルシウム血症の治療に用いる場合を除く）。しかし、オーダーが煩雑となることや、添加する生食が処方されないことによる問い合わせに時間が取られていました。そこで、薬液を抜き取った際の生食添加を行わないことも可能とさせて頂くことになりました。

生食の添加の有無にかかわらず、投与時間を15分以上かけることが必要ですのでご注意ください。（短時間で投与して急性腎不全が発現した症例が報告されています）

●腎機能別のゾレドロン酸を抜き取る量

クレアチニンクリアランス (mL/分)	抜き取る量
60以上	調整不要
50～60	12mL
40～49	18mL
30～39	25mL

投与時間は15分以上とすることは必ず遵守ください。

ご理解・ご協力お願い致します。

医薬品集を新しくしました

最新の当院採用医薬品がわかるように採用医薬品の一覧を作成しました。

検索しやすくするために絞り込みボタンを設置してあります。

テキストボックスに探したい医薬品名称の一部を全角で入力し、「絞り込む」ボタンを押して下さい。採用医薬品名の列で検索していますので半角やひらがな（商品名がひらがなのものは除く）では検索されませんのでご注意下さい。

「すべて表示」ボタンを押すと絞り込みがキャンセルされて、全ての採用医薬品が表示されるようになります。

各採用医薬品名をマウスでクリックすると各医薬品の添付文書が表示されます。ただし、添付文書の内容は最新のものでない場合がありますのでご注意下さい。

採用医薬品一覧

最終更新：2018年10月

検索したい薬名を全角でテキストボックスに入力して下さい

ここに全角で入力すると「採用医薬品名」の列で一致する行で絞り込みができます

絞り込む | すべて表示

薬効分類	採用医薬品名	懸濁法
冠血管拡張剤	アイトロール錠10mg	○
その他の眼科用剤	アイファガン点眼液0.1%	
その他の血圧降下剤	アイミクス配合錠HD	
その他の鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	亜鉛華（10%）単軟膏「ヨシダ」	
ピペリデン製剤	アキネトン錠1mg	○
その他の化膿性疾患用剤	アクアチムクリーム1%	
その他の酵素製剤	アクチバシ注2400万	
他に分類されない外用薬	アクトシン軟膏3%	
その他の外用殺菌消毒剤	アクリノール0.1%液「ヨシダ」	
その他の外用殺菌消毒剤	アクリノール外用液0.2%「ヤマゼン」	
他に分類されない消化器官用薬	アサコール錠400mg	
その他のサルファ剤	アザルフィジンEN錠500mg	●（腸まで）
抗ウイルス剤	アシクロビル顆粒40%「日医工」	○

*IE8でのみ動作確認を行っています。他のブラウザや異なるバージョンでは正常に動作しない可能性があります。正常に動作しない場合やその他気になることがございましたらDI室までご連絡下さい。

DI 情報

【副作用報告】

協同：3件、川口：2件、熊谷：1件、行田：1件、所沢：1件（DI委員会10月報告より）

No	薬効分類	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	合成ペニシリン製剤	ペングッド錠 250mg	薬疹/掻痒感	2	協同	可能性あり
2	非イオン性尿路・血管造影剤	オイパロミン 300注シリンジ 100mL	中毒疹/掻痒感	2	協同	可能性あり
3	鎮咳去痰配合剤 非ステロイド抗炎症薬 アセトアミノフェン	カフコデN配合錠 イブプロフェン錠 200mg カロナール錠 500mg	薬疹/掻痒感	2	協同	可能性あり
4	フィブラート系薬	ベザフィブラート SR錠 200mg	筋痙攣	2	所沢	可能性あり
5	ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤	プラリア皮下注 60mg シリンジ	顎骨壊死	3	川口	可能性あり
6	ビスホスホネート製剤	ボナロン錠 5mg、35mg	顎骨壊死	3	川口	可能性あり

7	βラクタマーゼ阻害剤 配合 抗生物質製剤	スルバシリン静注用 1.5g	肝障害	2	熊谷	可能性あり
8	小腸コレステロールトラ ンスポーター阻害薬	ゼチーア錠 10mg	CK 上昇/ 疲労	1	行田	可能性あり

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】

薬剤名	内容	処方の変更内容
・ラベプラゾール ・フロセミド ・スピロラクトン ・グリメピリド・モニラック ・アミノバクト・ロキソマリン レバミピド・リクシアナ	白血球減少および汎血球減少 を起こす可能性がある薬剤は どれか	モニラック、アミノバクト以外で血球減少報告あり。 ポラプレジンクは栄養不良患者において銅欠乏に伴 う血球減少の報告あり。他薬剤も血球減少の報告が あり。 ①ポラプレジンク中止 ②ロキソマリン → カロナール 亜鉛および銅の血中濃度、L/D チェック、疼痛確認。
インスリングルルギン注	強化療法から、BOT へ切り替 え Ns 常駐施設のため、ライゾデ グ 1 日 2 回への変更またはピー クの少ないトレシーバへの 変更を提案 BS: 124-189-119 夕食前血糖 80~90 台低めの日あり	トレシーバ注へ同単位で切り替え 家族にライゾデグ確認したところ、1 日 1 回注を希 望あり。 低血糖おこるようなら 1~2 単位きざみで調節
エリキユース錠 5mg2T2×	DVT に対して左記処方あり。 DVT に対しては 1 週間 20mg 2 ×のローディング提案。Cre: 0.89、69 歳、52.7kg	提案の通り変更。

【採用薬変更のお知らせ】 (県連薬事委員会 10 月報告より)

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メ-カ	薬品名	薬価	メ-カ	薬品名	薬価
新規採用	日本バー リンガー	スピリーバ 2.5μg レスピ マツト 60 吸入	6481.2 円			
後発医薬品への 採用薬変更	トーアエイ ヨー	アミオダロン塩酸塩静注 150mg 「TE」	1249 円	サノフ イ	アンカロン注 150	3,154 円
	ニプロ	レボフロキサシン点滴静 注バッグ 500mg 「ニプロ」	2,237 円	第一三 共	クラビット点滴静注バ ッグ 500mg	5,052 円
	サワイ	オセルタミビルカプセル 75mg 「サワイ」	136 円	中外	タミフルカプセル 75	272 円
	明治製 薬ファルマ	アダントディスポ関節注 25mg	334 円/ 本	整形外科では先発医薬品の使用を継続す る。再生医療センターのみの変更		
製造販売中止に 伴う採用薬変更	東和	ランソプラゾール OD 錠 15mg/30mg 「トーワ」	26.4/ 46.5 円	大興	ランソプラゾール OD 錠 15mg/30mg 「DK」	26.4/ 46.5 円
製造販売中止に 伴う採用薬削除				帝國	インテバン S P 25	
				E・P・ホルモンデポー筋注		
				ウイントマイロン錠 250		
				エコラン錠 80mg		
新規試用	マルホ	ヒルドイドフォーム 0.3%	22.2 円/g			
	あすか	リフキシマ錠 200mg	201.6 円			
	エーザイ	フィコンパ錠 2mg/4mg	189.7/3 10.2 円			

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI 室 (内線 9404) までどうぞ
担当: 清水・中村・玉水・木村・相良